

令和3年度山形県食品安全モニター及び適正表示ボランティア活動実績

令和3年7月より、食品安全モニター27名、適正表示ボランティア22名が活動を行い、県内の食品販売店の表示の状況についてモニタリングしていただきました。8月間の活動の実績は次のとおりです。

(参考) 令和3年度食品安全モニター 委嘱者数 27名
 令和3年度適正表示ボランティア 登録者数 22名
 委嘱期間 令和3年7月から令和4年2月まで

報告月		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	累計
うちモニター		27	27	27	27	27	27	27	27	216名
うちボランティア		1	0	1	1	0	1	0	0	4名
訪問店舗数		96	85	89	88	88	91	89	86	712店舗
指摘店舗数		27	16	14	12	14	17	12	11	123店舗
指摘品目数		37	24	20	17	18	22	19	19	176品目
指摘品目の 内 訳	農産物	25	10	17	10	11	8	8	3	92品目
	畜産物	2	0	2	1	2	2	1	2	12品目
	水産物	8	12	0	6	1	2	3	1	33品目
	その他	2	2	1	0	4	10	7	13	39品目
不適正表示確認店舗数		7	4	1	3	6	4	4	1	30品目
不適正表示確認品目数		15	7	1	4	7	5	7	1	47品目

不適正表示確認店舗数・・・県がモニター及びボランティアからの報告を受けて店舗を訪問した際に、報告どおりの不適正表示が確認された店舗の件数

不適正表示確認品目数・・・報告どおりの不適正表示が確認された食品の件数

◆モニター及びボランティアからの報告に基づき指導を行った主な事例

モニター及びボランティアからの毎月の報告に対し調査を行ったところ、指摘どおりの不適正表示が30店舗で47品目確認され、適正な表示を行うよう指導しました。

なお、主な事例は次のようなものでした。

- ・刺身で、生食用等の表示事項がなかったため、適正に表示するよう指導した。
- ・精米で、袋の名称表示が玄米と誤って記載されていたため、適切に表示するよう指導した。
- ・農産物に「県外産」の表示しかなく、適切な原産地を表示するよう指導した。